

# 原町市史

# 民俗

Folklore of Haramachi

## 第9巻 特別編Ⅱ

編集・発行／福島県南相馬市



### 【民俗】の主な内容紹介

- 第一章 民俗を形づくる環境  
人びとをとりまく社会 —マチ・ムラ、家や家族—
- 第二章 きる・たべる・すむ —環境と衣食住—
- 第三章 なりわい —生業—
- 第四章 わざに生きる人たち —諸職—
- 第五章 暮らしの知恵 —生活技術—
- 第六章 人やもの、情報の移動 —交通・交易—
- 第七章 誕生から死、そしてその後 —一生の区切りと人生儀礼—
- 第八章 月ごとの祭り —季節の移ろいの中の年中行事—
- 第九章 暮らしの中の宗教 —民俗宗教と神社や寺院—
- 第一〇章 楽しみのわざ —民俗芸能・民謡・わらべ歌と子どもの遊び—
- 第一一章 語り継がれる文芸 —昔話と伝説—
- 第一二章 原町市の民俗の見かた



種蒔桜(益田)

種蒔桜の開花は、稲の種子を蒔く目安でした。稲の実りが、桜のように豊かでありますように。。。そんな願いをこめた桜でした。



わたしたちは、どのように暮らしてきたのですか。  
あなたは、未来へ何を伝えますか。

農のはじめ(牛越)

【民俗】担当者	
監修	小林 清治 (福島大学名誉教授)
専門委員	大迫 徳行 (福島県民俗学会会長)
	岩崎 真幸 (みちのく民俗文化研究所代表)
	大迫 富子 (磐城民俗研究会)
	懸田 弘訓 (前福島県立博物館学芸課長)
	佐々木長生 (福島県立博物館専門学芸員)
	鈴木 岩弓 (東北大大学院文学研究科教授)
	田母野公彦 (福島県民俗学会事務局長)
	丹野香須美 (東日本国際大学附属昌平中学・高等学校教諭)
	二本松文雄 (南相馬市博物館主査)